

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公表番号】特表2007-526368(P2007-526368A)

【公表日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-500083(P2007-500083)

【国際特許分類】

C 09 K 19/42 (2006.01)

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 02 F 1/13 (2006.01)

C 09 K 19/30 (2006.01)

C 09 K 19/34 (2006.01)

C 09 K 19/12 (2006.01)

【F I】

C 09 K 19/42

G 09 G 3/36

G 02 F 1/13 5 0 0

G 02 F 1/13 1 0 1

C 09 K 19/30

C 09 K 19/34

C 09 K 19/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月4日(2008.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

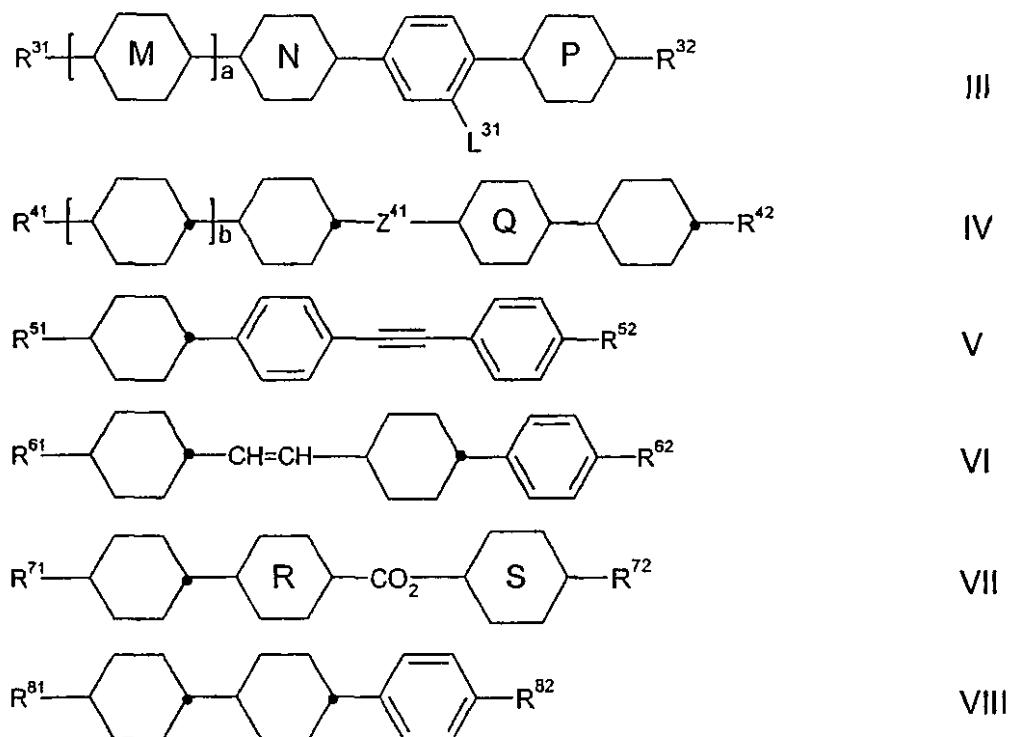
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

さらに、以下の化合物：

## 【化13】



式中、

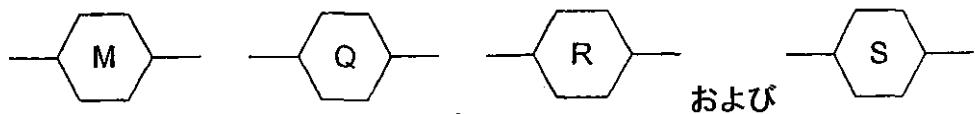
a および b は、互いに独立して、0 または 1 であり；

R<sup>3 1</sup>、R<sup>3 2</sup>、R<sup>4 1</sup>、R<sup>4 2</sup>、R<sup>5 1</sup>、R<sup>5 2</sup>、R<sup>6 1</sup>、R<sup>6 2</sup>、R<sup>7 1</sup>、R<sup>7 2</sup>、R<sup>8 1</sup> および R<sup>8 2</sup> は、互いに独立して、非置換であるか、またはハロゲンで単置換もしくは多置換されている C<sub>1</sub> ~ C<sub>15</sub> アルキルであり、ここで、CH<sub>2</sub> 基の 1 つまたは 2 つ以上は、互いに独立して、互いに隣接するヘテロ原子がないように、-O-、-S-、-CH=CH-、-C=C-、-CO-O-、-OC-C-により置換されていてもよく；

L<sup>3 1</sup> は、H または F であり；

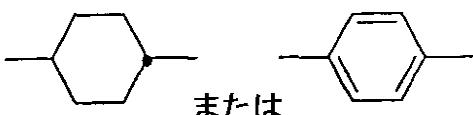
Z<sup>4 1</sup> は、-CO-O-、-CH<sub>2</sub>O-、-OCH<sub>2</sub>-、-CF<sub>2</sub>O-、-OCF<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-、-CF<sub>2</sub>CF<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>CF<sub>2</sub>-、-CF<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-、-CH=C- または -C=C- であり；

## 【化14】



は、互いに独立して、

## 【化15】



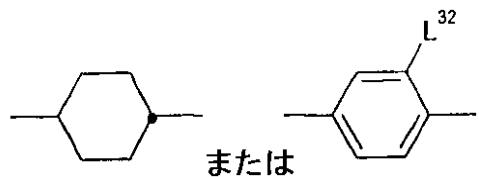
であり；

## 【化16】



は、

【化17】



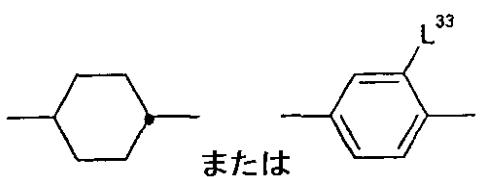
であり；

【化18】



は、

【化19】



であり、ここで、 $L^{3\cdot 2}$  および  $L^{3\cdot 3}$  は、互いに独立して、H または F である、の 1 種または 2 種以上を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の液晶組成物。